

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： ヒト胚発生モデル構築によるヒト胚発生機構の解明
2. 研究代表者： 柳田 絢加（東京大学 大学院農学生命科学研究科 助教）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題はヒト多能性幹細胞から作製したヒト胚盤胞モデル「ブラストイド」を用い、着床前から着床後の初期ヒト胚発生を試験管内で模倣し、発生過程の可視化、胚発生機構の解明を目指している。フェーズ 1 では、ヒト原始内胚葉の分化について解析が進み、着床期の再現についても着実に進行している。ヒト胚発生モデルの機能評価においては、非ヒト霊長類モデルでのブラストイド形成に成功した。フェーズ 2 では競合研究の状況も考慮して、ヒト胚の着床方向の制御機構やマウスとヒトの原始内胚葉の形状の差などにフォーカスして解析を進める。明確な目標を設定した、挑戦的でありつつ現実的な計画であり、成果が期待される。

以上